

# 待鳳だより (特別号)

平成27年度全国学力学習状況調査の結果

平成27年12月 4日  
京都市立待鳳小学校 校長 中野洋



今年4月21日に、全国の6年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」について、その結果がまとまりました。本調査は、国語、算数、理科の3教科のテストと、学習時間や家庭での過ごし方などを問う調査も実施されました。国語と算数はそれぞれ基礎的な事項の定着度をみるA問題と、発展的な事項を問うB問題が行われました。

今年は、理科で、基礎的な知識や技能に関する問題と、実生活の様々な場面で活用する問題が出題されました。調査結果の概要と本校児童の様子についてお知らせします。



## 結果の概要(国語・算数・理科)

全国の平均正答率と比較すると、国語のA問題・B問題、算数のA問題・B問題、理科のすべてにおいて、2～8ポイント上回っていました。

京都市の平均正答率と比べると、国語では、A問題、B問題ともに3～6ポイント回っていました。算数では、発展的な学力を問うB問題が1.5ポイント上回っていました。

## 国語科の結果より

国語科では、次のような項目については、高い正答率となっていました。

- ・文を構成する主述関係の照応関係が正しいものを選択する。
- ・説明文の書き方として適切なものを選択する。
- ・目的や意図に応じて新聞の割り付けをする。
- ・目的に応じて中心となる語や文を捉えて書き抜く。
- ・目的に応じて文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えて書く。

次のような項目については、課題が見られました。

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。
- ・文の主語として適切なものを選択する。
- ・新聞コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く。
- ・目的や意図に応じて、取材した内容を整理しながら記事を書く。
- ・楽器の分担について、楽器の図と文章を関連付けて、自分の意見を書く。



## 算数科の結果より

算数科では、次のような項目については、高い正答率となっていました。

- ・繰り上がりのある2位数の加法の計算。
- ・式で表現された数量関係を図と関連付けて理解する。
- ・平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解する。
- ・単位量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買い物の仕方を選択し代金を求める。

次のような項目については、課題が見られました。

- ・小数の計算の結果についておおよその大きさを捉える。
- ・単位となる少数のいくつ分で、小数の大きさを表す。
- ・異なる分母分数の減法や除数の計算をする。
- ・分度器のメモリを読み、180度より大きい角の大きさを求める。
- ・円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の角の大きさを求める。
- ・グラフに表されている事柄を読み取る。
- ・示された二組の道のりが等しくなることを、図形の性質見出してを記述する。
- ・20%増量した商品の内容量について、比較量と割合から、基準量を求める。
- ・概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し、目標に達するには3000個集めればよい理由を記述する。
- ・長方形の面積を2等分する考えを用いて、二つの図形の面積が等しいことを記述する。



## 理科の結果から

理科では、次の項目については、高い正答率となっていました。

- ・打水の結果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関連付けながら考察分析する。
- ・水蒸気は水が気体になったものであることを理解している。

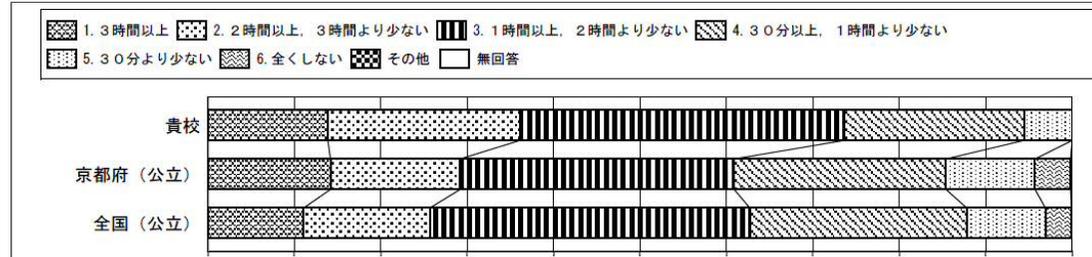
次のような項目について課題が見られました。

- ・顕微鏡の適切な操作方法を身につけている。
- ・メスシリンダーで定量の水をはかりとる適切な使い方を身につけている。
- ・方位を判断するために、観察した事実と関連付けながら情報を考察して分析する。
- ・夕方に見られる月の形と場所を理解している。
- ・星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身につけている。

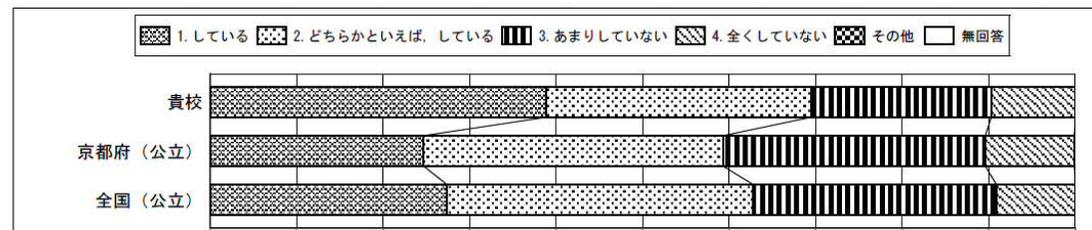
## 児童質問紙の結果から

京都府や全国の児童と顕著な違いが見られた項目を紹介します。

○学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。



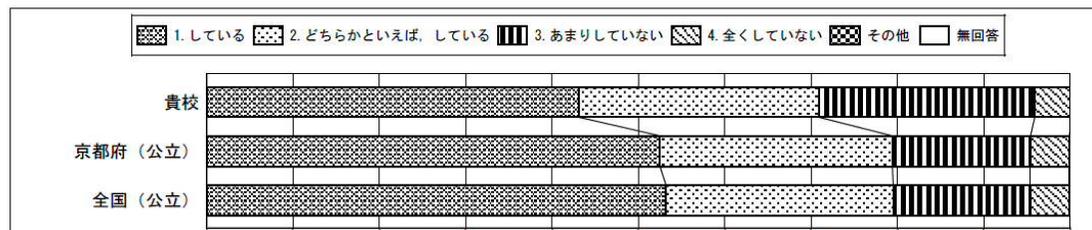
○自分で計画を立てて勉強していますか



○400字づめ原稿用紙2～3枚に感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか



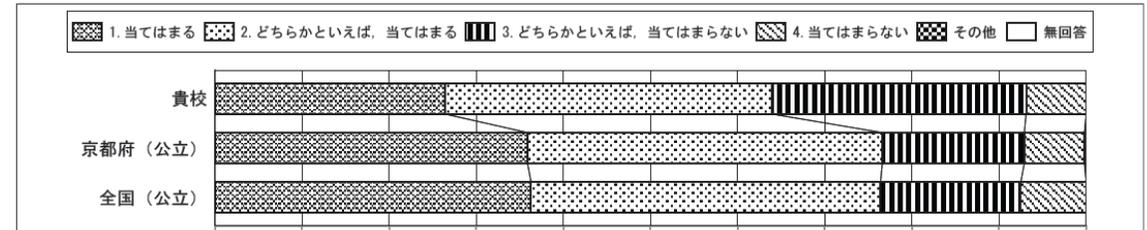
○家の人と学校での出来事について話をしますか



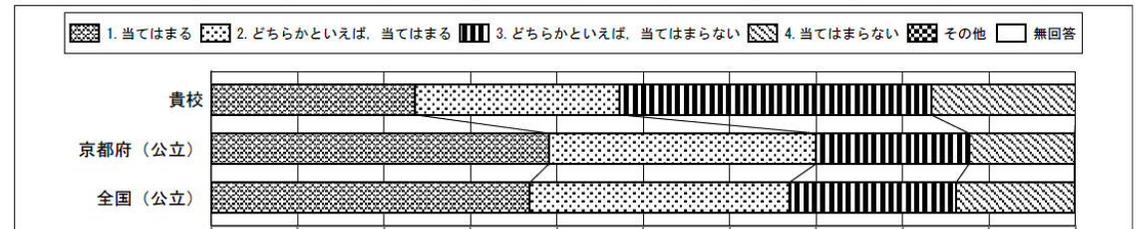
・家で、自分で計画を立てて学習する力や家庭での学習時間については、昨年度から取り組んでいる家庭学習についての指導の成果が少しずつ出てきているのではないかと思います。

・自分の考えをまとめて書くことを苦手とする児童が多いようです。

○自分には、よいところがあると思いますか



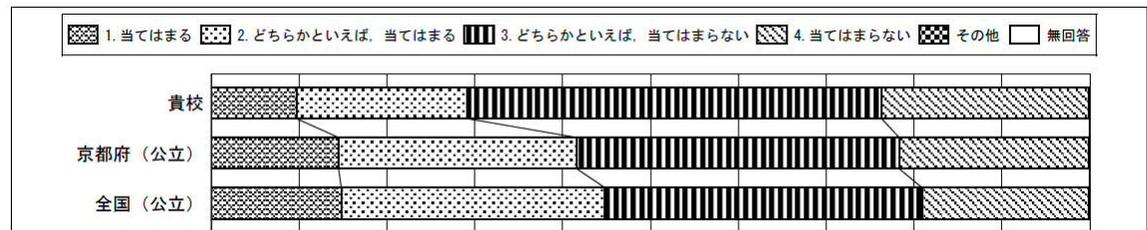
○今住んでいる地域の行事に参加していますか



○地域や社会で起こっていることに興味がありますか。



○地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。



・自分によいところがあると感じている児童が少ないようです。子どもたちの良さをたくさん見つけて、どんどん褒めていくことによって、自信を持たせていくことが必要なのではないかと思えます。

・地域の行事に参加している児童や地域に起こっていることに興味がある児童が少ないことなど、地域や社会に関心が薄い児童の割合が高いことが気になります。これからの子ども達に必要な力は、自分から地域や社会に働きかけていく実践力です。子ども達がもっと地域や社会に目を向けるような取組が必要だと思います。